

令和元年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成30年度実績)

担当課	農業政策課
-----	-------

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	2580
細事業名(事務事業名)	朱鷺と暮らす郷販売用米袋の作成費(販売網構築事業)			開始年度	H20	終了年度 R3
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	無し
将来ビジョン体系	1 農業の振興 (1)農林水産業の振興					
地方創生体系	1:島の資源を活かし、元気な産業と安定した雇用を創出する。					
事業概要	佐渡市認証米「朱鷺と暮らす郷」を販売する際に、佐渡市統一米袋を推奨している。統一米袋にすることにより、どこで販売しても同じデザインで店頭に並ぶことになるため、朱鷺と暮らす郷のブランドイメージを定着させ、取組みを消費者に伝える効果が期待される。なお、利用を推進するために米袋の作成費の1/2を佐渡市が負担している。統一米袋を推奨する限りは、米袋作成について経費負担が発生する。					
対象	「朱鷺と暮らす郷」販売者					
意図(対象をどのようにしたいか)	「朱鷺と暮らす郷」のブランドイメージが定着し、販売者の積極的な販売に繋がる。					

Do

- ◆将来ビジョン 持続可能な循環型社会の実現に向けた経済活性化戦略指標◆
- ◆まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標別の数値目標及び重要業績評価指数(KPI)◆

項目名	戦略指標	H30年度現状	R1年度31目標
ア 持続的な経営の展開	主要農産物の販売額	5,831百万円/年	6,400百万円/年
エ 自然共生を基本とした販売戦略	認証米取扱店舗数(米穀店)	322店舗	380店舗
ア 高品質な佐渡米の生産推進による農業経営の安定化	「朱鷺と暮らす郷づくり認証米」の販売店舗数	322店舗	380店舗

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	H29年度実績値	H30年度(評価年度)		R1年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
	認証米取扱店舗数(米穀店)	店舗数	290	-	322	380
算式	-					
算式						
算式						

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名		H29年度決算額	H30年度当初予算額	H30年度予算現額	H30年度決算額	R1年度当初予算額	R2年度以降の予算の方向性	
	指標	目標(成果)指標名	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	事業の方向性
1	指標	朱鷺と暮らす郷販売用米袋の作成費	2,566	3,131	3,131	3,924	4,241	予算	維持
	指標		-		-	-	-	事業	維持
2	指標							予算	
	指標							事業	
3	指標							予算	
	指標							事業	
4	指標							予算	
	指標							事業	
5	指標							予算	
	指標							事業	
事業費の合計(千円)			2,566	3,131	3,131	3,924	4,241		
財源内訳	国庫支出金		1,283	1,332	1,565	1,962	2,120		
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源		1,283	1,799	1,566	1,962	2,121		

Check		◆事務事業を構成する細事業の評価◆			A：適正である B：検討の余地あり C：見直しすべき	
枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策	
1	朱鷺と暮らす郷販売用米袋の作成費	C	A	A	米袋の統一化を図ることは、「朱鷺と暮らす郷」のブランドイメージを定着させるためには必要な事業である。現状は、1/2の交付金を活用しつつ、販売者に1/2の負担を求めているため市の支出はない。ただし、交付金が終了した場合は、市の支出が発生するため事業費の圧縮は必要と考える。	
2						
3						
4						
5						
Action		◆今後の事務事業の方向性◆				
評価(担当課長)		事業の方向性	維持	予算の方向性	維持	
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)		統一米袋を推奨し支援することにより、「朱鷺と暮らす郷」のブランドイメージの定着が図られた。しかしながら、費用負担が毎年発生する。支援をやめた場合、複数の種類の米袋が使われ、ブランドイメージが崩壊する可能性が高まる。				
R2年度予算要求見込額とその増減理由(R1年度比)		R1年度と同額の見込み。「朱鷺と暮らす郷」の販売量による。				